

デコスドライ工法 特別見学会

6・19日、山口

セルロース断熱材「デコスファイバー」を使用した断熱工法「デコスドライ工法」の無料特別見学会が6、19日の2日間、山口県下関市のデコスドライ工法本部で開催される。昨年12月にも実施され、好評だったため再開する。同工法により建てられた住宅の居住者が著した書籍の出版記念も兼ねた見学会となる。

セルロースファイバーは、古新聞紙が素材というエコ性が注目されている断熱材。リサイクル建材であることに加え、施工性も高く、調湿・遮音性能にも優れる点が評価されている自然系の断熱材だ。

デコスドライ工法は、壁体内の無結露20年を業界で初めて保証したほか、新JIS規格も取得した信頼性の高い建材。セルロースファイバーでは唯一、住宅性能表示制度の温暖環境分野における最高等級4の認定も取得しており、断熱性能も折り紙付き。環境配慮の世論の高まりを受けて、同工法を取り扱う代理店もここ1年半で58店と倍増している。見学会はセルロース断熱材であるデコスフ

アイバーの製造・販売などを手掛けるデコス（山口県、安成信次社長）が、同工法の普及を手掛けるハイアス&カンパニー（東京都、濱村聖一社長）と共同で開催する。

デコスドライ工法の開発に携わり、同工法で建設された住宅の居住者でもある、越智産業の竹之内浩氏による著書、「新聞紙で快適な家が建つ」も出版されたばかり。特別見学会はその出版記念も兼ねて行われる。

特別見学会は両日とも午後1時から5時まで。参加費は無料。定員10社に達し次第締め切り。

申し込み、問い合わせは、ハイアス&カンパニー、電話03・5423・7333、担当、福島・本木（ほんき）氏まで。